

錦織監督が生徒に 島根の魅力訴える

松江、宍道高文化祭

松江市宍道町の宍道高校で4日、文化祭があり、隠岐古典相撲を題材にした出雲市出身の映画監督錦織良成さん(52)の作品「渾身」が上映された。上映後に錦織さんが登壇し、自作の舞台に何度も取り上げている島根の魅力を語った。文化祭は同校生徒会が中

心となり「笑顔で一つになろう」をテーマに企画。島根の魅力を見つめ直し、外へと発信する力をつけるきっかけづくりにと渾身の力



宍道高校文化祭で島根の魅力を語る錦織良成監督

映を計画し、錦織監督に来校を依頼した。

錦織監督は生徒や保護者ら約250人を前に、「人が少ない」「田舎」といった周囲の声に惑わされることなく、豊かな自然に代表される島根の魅力を「自分の目で見つめてほしい」と述べた。続いて、新作の「たたら侍」を紹介する映像を流し、「宍道町で撮影する際は、ぜひ協力してほしい」と呼び掛けた。

生徒会長の近藤一也さん(19)は「3年は「相撲を中心に地域が一つになる渾身」と、文化祭のテーマが合致した。同級生や後輩たちに、島根の魅力を再認識してほしい」と話した。